

## 福祉パレット

町内会・自治会活動にご活用ください。

向日市社会福祉協議会は町内会・自治会活動を応援しています。

## こんな時は、ご相談ください。



## ☆運動会を開催しようと思うけれど、けがをしたらどうしよう？

→イベントでのけがや事故の不安を軽くするために「福祉の保険」を取り扱っています。

## ○福祉行事保険

安心して福祉行事を行っていただくための保険です。保険料は1行事につき、1人(30円~269円)×参加人数

## ○ボランティア保険

安心してボランティア活動を行うための保険で、保険料は、1人300円と500円があります。保険料振込日の翌日から翌年の3月末日までが補償期間  
※くわしい補償内容については、お問合せください。

## ☆お祭りなどの交流行事をしようと思うけれど、イベント用の道具なんてどうするの？

→町内会活動で役立つ備品を貸出します。

## ○貸出備品一覧

テント、餅つき道具、サンタクロース衣装、タフブネ、電気ドラム、ストライクナイン、ビデオプロジェクター、スクリーン、展示パネル、アイマスク、車イス、ハンドベルほか



## ☆介護予防や福祉に関する学習会を開きたいと思うけど、どこに相談したらいいんだろう？

→講師として職員を派遣します。

例) 認知症サポーター養成講座、介護予防講座、福祉とボランティア出前教室

☆福祉団体や町内会等が行う福祉活動を対象に助成を行っています。

○1事業あたり5万円が限度(活動内容により助成先・助成額を決定します。)

# ご協力をありがとうございました



## 平成21年度赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金結果報告

### ◆募金の状況

地区・種別	赤い羽根共同募金	歳末たすけあい募金
物集女	600,750円	577,727円
寺戸	1,169,206円	1,288,349円
森本	318,450円	370,930円
鶏冠井	354,100円	452,132円
上植野	365,500円	437,110円
向日	87,700円	135,835円
西向日	150,000円	182,000円
向日台	100,955円	100,101円
その他 街頭募金 職域募金 前年度繰越	169,632円	10,188円
合計	3,316,293円	3,554,372円



### ◆配分金の使途

寄せられた善意は、このような事業に使わせていただきました。

#### ○赤い羽根共同募金

事業名	配分金
交流のつどい支援事業	180,000円
单身親世帯支援事業	100,000円
むこう市社協だより「福祉パレット」発行	636,450円
向日市社協ホームページ作成	57,000円
困りごと相談事業	360,000円
向日市社協ボランティア連絡会育成支援事業	80,000円
親子ふれあい事業	100,000円
障がい児・(者)ふれあいレクリエーション	236,550円
向日市サマースクール中高生の取組支援事業	50,000円
障がい者の交流のつどい支援事業	30,000円
合計	1,830,000円

(京都府共同募金会からの配分金)

#### ○歳末たすけあい募金

事業名	配分金
子育て支援事業	111,971円
地域支えあいベル設置事業	311,732円
お節料理配食事業(ひとり暮らし高齢者)	1,033,000円
貸出用車いすの整備・補修事業	54,000円
ボランティア育成支援事業	33,000円
地域サポーター養成講座	76,000円
「福祉とボランティア」出前教室事業	37,400円
減災対策事業	110,000円
社協まつり	655,946円
新成人自己発見・再確認支援事業	8,158円
事業費助成(福祉団体) 15団体	661,760円
事業費助成(地区社協) 8団体	401,280円
事務費	60,125円
合計	3,554,372円

## ボランティアの登録を受付けています



ボランティア活動センターでは、みなさんのボランティア活動を応援しています。活動の相談に応じたり、活動先の紹介やボランティア講座等の案内をさせていただきます。

初めての方は、ボランティアの体験もできますので、興味がある方はお気軽に地域福祉係へご相談ください。

### 《主なボランティア活動》

**地域福祉活動:** ご近所での活動(お話し相手・ふれあい交流・ゴミ出し協力他)

**福祉施設活動:** 介護施設やデイサービス、グループホームでの活動(お話し相手、身のまわりのお世話、ふれあい喫茶活動、行事協力他)

**グループ活動:** 団体での活動(手話、要約筆記、点字、介助、ふれあいサロン、音楽交流等)

## ふれあいサロンをご存じですか?

市内には、地区社協(注1)やボランティア団体等の運営により、「ふれあいサロン」が17か所あります。

このサロンは、身近な地域で開催されており、高齢者の生きがいづくりや健康づくり、社会参加等を目的に、茶話会やレクリエーション、小物作り等を定期的に行う活動のことを言います。

現在、世話人や、新しくふれあいサロンを設立したい方を募集しています。

また、参加を希望される高齢者の方も併せて募っていますので、ぜひ地域福祉係までご連絡ください。

(注1) 地区社協とは、小地域(自治連合会・区)を単位として、地域福祉を推進する住民主体の団体で、高齢者の配食活動や世代間交流行事、地域福祉懇談会等の活動を展開されています。

## 障がい者地域生活支援センター

福祉制度やサービス調整、生活上の悩みや日ごろ気になっていること、障がい福祉のことなら何でもご相談ください

受付時間：月～金曜日 午前8時30分～午後5時  
相談方法：窓口相談、電話、ファックス、メール、訪問も行います

本センターでは、相談支援のほかに、療育や余暇活動支援（創作活動・ハンドベル）を行うとともに、サロン活動を通して、障がい児・者の自立と社会参加を支援しています。

### 事業の紹介

#### ◆余暇活動支援事業（創作活動）

学校が休みの土曜日を利用し、創作活動を通じて個性発揮の場を提供しています。



作品は、「京都とおきの芸術祭」への出展、「社協まつり」への展示により、多くの方に見ていただく機会となっています。

#### ◆療育事業（ミュージックケア）

身近な療育の場として、ミュージックケアを行い、家族間交流の場ともなっています。



#### ◆聴覚障がい者のための手話教室

聴覚障がい者の社会参加と仲間づくりのために開催し、今回は、初級コースのみ市民の参加を募り、手話を始めるきっかけづくりや聴覚障がい者の生活体験談など、交流の場を提供しています。



高齢者の見守り活動をしている方を応援するために、高齢者見守り活動応援プランと

## 夢ペット貸出します

※貸出期間：3か月

して『夢ペット』の貸出を行っています。

現在、本物そっくりのペットロボット（ねこ）の飼い主を募集しています。関心のある方は地域福祉係へご連絡ください。

### 【高齢者見守り活動を応援するプラン（フレンド）】

①周囲の方との会話が增える  
地域住民に認知症への理解を広げるための「つながりづくり」の効果を期待しています。

④認知症の予防  
ペットが好きな方には「脳活性化」が期待でき、認知症の予防につながります。

②いきいきとした表情の変化  
生活が豊かになり情緒が安定するなど、ペットを飼うことで本人の「癒し」効果を期待しています。

③ペットを飼う「自己実現」効果  
高齢になると、ペットが好きでも飼うことができないなど、いろいろな喪失体験が多いのですが、ペットを飼うことで自分の役割や生きがいを取り戻すことを期待しています。

## 車イスを貸出します

お出かけの時や緊急時にお使いください

【利用できる方】向日市内在住で、一時的に車椅子を必要とされる方で、次の場合に利用できます。

- ・旅行や行楽などで利用される時
- ・介護保険サービスの車椅子レンタルを申込み、納入されるまでの期間
- ・市内の親族宅等に帰省されている期間
- ・その他、事故により車いすが必要な時

【貸出期間】原則として、1週間以内

【車いすの種類】自走式、介助用、介助用軽量タイプ

【申込み】地域福祉係で申込みを受付けています。



## 福祉会館をご利用ください

### 〈会議室の利用方法〉

福祉関係団体や福祉関係の会議にご利用いただけます。

申込方法 利用する日の3か月前から3日前までに1階の会館事務室に申込

休館日 毎週日曜日、国民の祝日及び12月28日から翌年1月4日まで

受付時間 午前9時から午後5時まで

利用料金 無料

会議室 大会議室 定員70名

研修室 定員16名

※会議に伴う保育ルーム用のスペースも確保できます。

### 〈福祉会館の見学も受付けています〉

福祉会館内の見学、身体の不自由な方への設備、社会福祉の仕事などをご案内します。

1階の会館事務室にお申込みください。

# 「地域福祉に関する実態調査」の結果

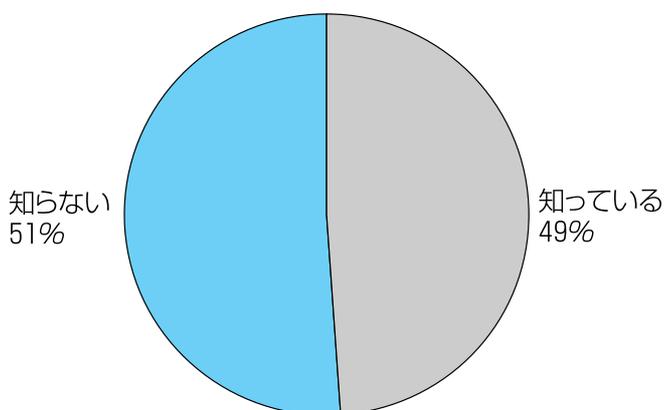
～誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように～

この調査は、昨年の秋に、市内の20歳以上の男女(2,000名)を対象に行いました。(回収数:765/回収率:38.3%)  
その結果、向日市社協の認知度や求められている福祉ニーズの課題が明らかになりましたので、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、これからの福祉のまちづくりに生かしていきます。

実態調査の結果は、冊子(18ページ)にまとめて配布しています。ご用の方は、地域福祉係までご連絡ください。

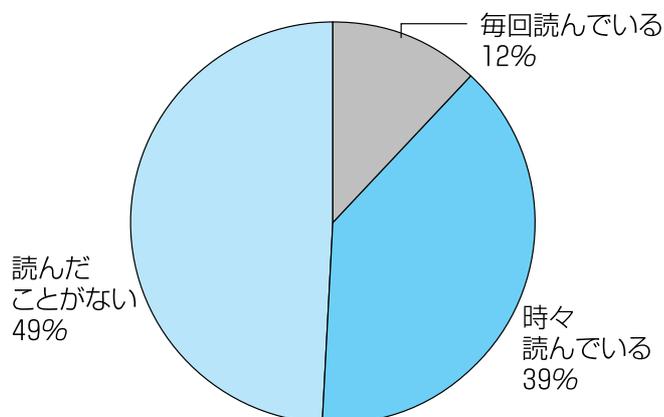
## ◆向日市社協のことを知っていたかどうかについて

【社協の認知度】



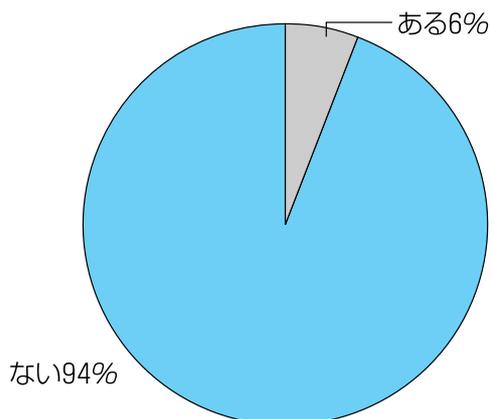
## ◆社協だより「福祉パレット」を読んでいるかどうかについて

【福祉パレットの認知度】



## ◆向日市社協が行っている各種事業に参加したことがあるかどうかについて

【社協主催の各種事業への参加状況】



## ◆高齢者が地域で安心して暮らしていくために必要なことについて

- 1位: 自宅で医療や介護サービスが受けられる体制 (35.5%)
- 2位: 地域の人々と日々ふれあえる場所や機会 (15.3%)
- 3位: 安全・安心な住まい (13.1%)

## ◆障がい者が地域で安心して暮らしていくために必要なことについて

- 1位: 障がいへの理解 (25.6%)
- 2位: 安心して医療が受けられる体制 (20.8%)
- 3位: 日常生活全般にわたって気軽に相談ができる場所や機会 (18.2%)

## ◆向日市社協が行っている各種事業の中で、充実すべきことについて

- 1位: 福祉に関する情報の提供 (16.0%)
- 2位: 地域福祉・ボランティア活動に関する広報周知 (14.3%)
- 3位: 支援を必要とする人と援助する人とのつなぎ役 (14.1%)

## ◆地域で安心して子育てしていくために必要なことについて

- 1位: 親の仕事の形態に合わせた保育施設やサービス (28.2%)
- 2位: 子育ての不安や悩みの相談ができ、支援してもらえる体制 (17.7%)
- 3位: 男女が共に家事・育児ができる環境 (15.4%)

## 第2回

# 社協まつりを 開催しました

市民各層の福祉活動へのさらなる理解と地域住民の融和と連携を深めるため、平成21年11月1日(日)向日市福祉会館において、「第2回 社協まつり」を開催しました。当日は、子どもから高齢者まで約1,500人にご来場いただき、人形劇団「クラルテ」に

よるイベントやボランティア紹介、サロン作品体験、作業所作品販売、模擬店やもちつき等々、盛りだくさんのイベントで大変なご来場いただきました。また、その中で、長年にわたり社会福祉事業に従事された方や多額のご寄付をされた方など、25名と4団体に表彰を

させていただきます。

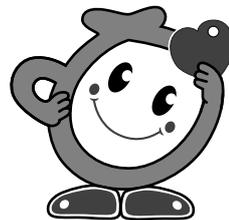
受賞者 (順不同・敬称略)

社会福祉事業奉仕者

下村 邦夫	上羽 宏昌
川本富美子	田中 義子
八木 育子	山本 道子
本田 浩子	佐生 啓
田中喜久子	中井 歌子
塩崎 倫子	村山 尚
安田 勝三	長命 絢子
中村 薫	中野三武郎
清水 孝清	五十棲正孝
上田 勉	嶋田 和三
安井 薫	野村 寛
京都セラピードッグクラブ	

寄付者

服部 弘泰
吉井 孝一
恒田 三千雄
医療法人回生会
向福グループ
三菱電機株式会社・三菱電機株式会社
SOCIOR
OTT S基金



善意の寄付

ありがとうございました

(平成21年9月1日～平成22年2月10日)

国際ソロプチミスト京都	西山様	30,000円
近畿歌謡合同研究会様		73,400円
東向日キリスト教会様		5,000円
吉井 孝一様		50,000円
山本 隆様		24,300円
オフィスJY様		20,000円
向日市グランドゴルフ協会様		10,000円
畠中 まひろ ゆうひちゃん		5,663円
京都新聞乙訓販売所連合会様		25,000円
匿名		500,000円

## まちかどウォッチング



## あいさつが人をつなぐ

今回は、向陽小学校の学校防犯協力員の皆さんによる安全パトロールを紹介します。

安全パトロールは、地域住民が主体となり、子どもたちの登下校の安全を見守るボランティア活動です。

皆さんの声掛けに、子どもたちが元気よく挨拶を返す姿がとても印象的です。

また、登下校以外でも子どもたちから挨拶をしてくれるようになったとのこと。

これからも、共に支え合う地域づくりが続けられ、人と人との和が広がっていくことを願っています。



撮影：平成22年1月29日(金)

## 委員を募集します。 社協の運営に参加しませんか

誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」を推進するため、地域福祉推進委員会等に参画していただける方を募集しています。自分の住んでいるまちを、こうしたい、ああしたい、という思いがある方、住み良いまちづくりのために何かをしたい方、応募ください。

～応募要項～

**対象：**市内在住または市内で福祉活動をされている方  
**任期：**平成24年4月末まで  
**活動：**年に数回、会議や地域の事業等に参加していただきます。  
**応募方法：**本会所定の応募用紙に必要事項を記入し、提出してください。  
**選考方法：**書類による選考を行います。選考結果は応募者全員にお知らせします。  
**受付：**平成22年4月1日(木)～4月30日(金)  
 ※くわしい募集要項または応募用紙は本会事務所またはホームページに掲載しています。

# おためしヘルパーを利用しませんか？

毎日の生活で不自由を感じておられませんか？

ご自宅で安心して暮らしていけるよう、お手伝いさせていただきます

## ◆ 誰でも利用できるのですか？

介護保険の要支援または要介護の認定を受けておられる方で、現在、訪問介護（ホームヘルプ）のサービスを利用されていない方。

## ◆ おためしは、いつ利用できるのですか？

ご利用者お1人1回で、火・水・木曜日のうち、いずれかの訪問となります。時間は、サービス内容により異なりますが、30分から1時間30分の範囲内です。

## ◆ 利用料金はいくらですか？

おためしは、無料です。

## ◆ どんなサービスを利用できるのですか？

在宅で自立して生活することができるよう、生活援助・身体介護のサービスを提供します。ただし、ご利用者の身体状況や家族の状況により、サービス内容は異なります。

### 生活援助サービス

- 生活必需品の買物
- 一般的な調理、後片づけ
- 居室内等の清掃
- 洗濯、取り入れ



### 身体介護サービス

- ご本人のペースに合わせた食事介助
- トイレへの誘導、オムツの交換など
- 清拭、入浴介助、更衣介助、口腔ケア、洗髪
- 室内の移乗・移動介助



## ◆ どこに申し込むのですか？

お申し込み・お問い合わせは、ホームヘルプセンターまで、ご連絡ください。  
(電話番号は、8ページに掲載しています。)

◎デイサービス（通所介護）も「おためしデイ」を受付けていますので、デイサービスセンターにお問い合わせください。

# 認知症の正しい理解を

## みんなで見守り支えあう地域づくり

休日の夕暮れ、犬を連れ散歩していると、私が担当している利用者が不安そうに歩いておられましたので声をかけました。

「Aさん、今晩は。どうされたのです。」

「今晩は。家に帰ろうとしているのですが、道が分からなくなっています。」

「それなら、良ければお宅まで一緒に帰りましょうか。」

「それは、助かります。」

この利用者は、認知症状のある方で、このような症状を、「見当識障害」と言います。

見当識とは、現在の月日や時刻、自分がどこにいるかなどの基本的な状況を把握する能力のことです。この能力が、

低下してくると、自分がどこにいるのかわからなくなると、道に迷ってしまうことがあります。

また、別の方ですが、道に迷っているときにちょうど交番がありましたがお道を探ねられましたが、お巡りさんに名前や住所を聞かれ、答えら

れなかったそうです。

この症状は、「記憶障害」といいます。脳は、目や耳などから入る情報を選択して、一時的に蓄え、大事な情報は忘れないように保存する事ができます。しかし、認知症も記憶できなくなります。

ケアマネジャーとして、多くの方と接してきましたが、認知症は、ご本人の不安は、もちろんのこと、介護されているご家族にとっても大きな負担となっています。

これからますます高齢化が進行し、認知症高齢者も増えてまいります。介護保険などは、十分な対応が難しいと考えられます。

そのため、認知症高齢者などが地域の中で安心して暮らしていけるよう、みんなで見守り支えあう地域づくりに、多くの方の理解と協力が必要であると思います。



## 花粉症対策について



暖かい南風とともに、花粉症のある方にはイヤな季節がやってきました。ほんの少しの花粉でもつらいものです。今年の花粉の飛散状況はどのくらいでしょうか。

○2010年の花粉の飛散量は？

花粉飛散量は、前年の夏の天候に左右されます。昨年は、天候不順が続き、日照時間が全国的に平年より少ないため、今年の花粉量は、少ないと予想されています。

○花粉が多く飛ぶ気象条件

\* 晴れて気温が高い

\* 空気が乾燥

\* 風が強い

\* 雨上がりの翌日

○花粉症予防の第一歩は「自分の身の回りの花粉を減らすこと」です。

□外出時の対策

・花粉飛散情報に注意する

・使い捨てマスク・メガネ・ゴーグルを着用する。

・花粉が付きにくいスベスベした生地を着る

□帰宅時の対策

・家に入る前に玄関先で服をはたく

・洗顔、うがい、目を洗う、手洗い等をする

□室内の花粉の除去法

・床は掃除機だけでなく、ウェットシートなどで拭き取る

・カーペットや布製のソファに十分掃除機をかける

・布団にも掃除機をかける

・空気清浄器で室内の花粉を取り除く

・布団を干した後はしっかりとたたいてから、家に取り込む

○最後に、治療の第一歩は「症状を軽くすること」です。花粉の飛散シーズンを楽に乗り切るために、病気のこと、治療のことを含めて、医師とよく相談しましょう。

向日台連合自治会 会長  
原田 弘勝さん



向日市社協では、市内で社会福祉に携わって活躍されている方や団体にインタビューを行い、その方の社会福祉活動の内容等をご紹介します。「この人に聞く」コーナーを開設しています。今回は、認知症支援体制構築等推進事業のモデル地区となつている向日台連合自治会長の原田弘勝さんに、自治会の活動や今後の地域づくりのあり方等について、お話を伺いました。

### ▼向日台連合自治会の活動とは？

向日台は府営の団地で、6つの自治会に485世帯が居住されています。

① 原田さんは、平成16年から連合会の会長として、住みやすい環境づくりをめざした活動や住民の親睦や交流を深めるための活動に取り組まれています。

また、高齢者等が安心して暮らせる地域づくりを推進するため、地区社会福祉協議会も設立されています。

② 地域での生活環境の整備や改善に向けての活動  
※自治会として組織化を図り、様々な生活環境の改善に取り組まれています。

③ 親睦・交流会  
スプリングフェスティバル、運動会、芋掘り、グラウンドゴルフ大会

冬のイベント（ぜんざい・ビンゴゲーム等）

※居住者が引きこもりにならないように、催しの際には必ず声かけをされています。

③ 地域の見守り活動  
シールを使用したゴミ出し支援

会食会や配食、サロン活動  
※活動を通じて住民の見守り支援をされています。

### ▼活動のやりがいと課題は？

「活動を通じて、住民の方々に『ありがとう。』と声をかけてもらえることが一番嬉しい。団地のほとんどの方の顔も知っています。今後も地域の方の一人ひとりの声に耳を傾けていきながら、長く活動を続けていきたい。そして、最近、子育て世代の方から子ども会活動を活性化させたいという声が上がったり、積極的に自治会活動に参加される女性が増えたり、地域活動の芽

生えが表れつつあります。この

ような方々がいずれ中心となつて、高齢者のお世話もしてくださると心強い。」と話されました。

原田さんに、今後の課題についてお伺いしたところ、「向日台地区の課題はなんと云つても高齢化です。若い世代の人がもつと入居してきてほしい。様々な世代の方が居住されることで、

地域は活性化すると思います。」とご意見もいただきました。

### ▼ふれあいと思いやりのまちづくりを実現させるために？

向日市では、認知症への理解を深めるため、認知症地域支援体制構築等推進事業（京都市事業）を実施しています。この事業は、認知症になつても住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みづくりをめざしています。昨年10月から向日台をモデル地区として行っています。原田

さんに認知症支援をはじめ地域づくりを推進していくためには？とお伺いしたところ、「誰もが、気軽に声を掛け合うことができる隣近所の支えあいや、

困ったときのご近所の助け合いの気持ちが必要です。これからも集合住宅の特性を活かした地域の見守り活動を展開するとともに、災害時などに要配慮者として支援が必要な方などについても、行政や地域包括支援センターの協力を得て、地区として把握していきたいと考えています。」と熱心に語っていただきました。

向日市社協では、今後も「この人に聞く」コーナーにおいて、「ふれあい」と思いやりのまちづくりの実現に向けて、メッセージを発信していく予定です。

(愛称：むつみん)



## 向日市社協の広報誌「福祉パレット」に関するお知らせ

向日市社協の広報誌「福祉パレット」は、市民の皆様から寄せられた善意の「赤い羽根共同募金」の配分金を財源として、年に3回(3月・7月・11月)発行しています。

今後も市民の皆様に関心と親しみを持って読んでいただけるよう、紙面の充実に努めてまいりたいと思っておりますので、「福祉パレット」に対するご意見やご感想、ご要望等がありましたら、お気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

- 総務係 932-1960
- 地域福祉係 932-1961
- 障がい者地域生活支援センター 932-1990
- 地域包括支援センター 921-1550
- デイサービスセンター 931-3294
- ホームヘルプセンター 932-1968
- 居宅介護支援センター 931-3030
- 福祉会館 931-3322

